

BIOMIMETICS

バイオミメティクス・市民セミナー



バイオミメティクス (Biomimetics) は、生物模倣技術と訳します。

「カの口を模倣した痛くない注射針」「サメの皮膚を模倣した水抵抗の少ない水着」「ヤモリの指先を模倣した粘着テープ」、さまざまな分野での新技術の応用と商品開発がなされています。

生物は、5億年の自然選択によって、人が頭で考えるデザインよりも優れたデザインを獲得しています。博物館には多くの生物標本が収蔵されていますが、標本を工学者の設計デザインの視点から見直すとどうなるでしょう。

生物学者では解けなかった自然の造形美の意味が解き明かされるかもしれません。そして生物のデザインからアイデアを得て新しい技術が生まれるかもしれません。

動植物の持つ能力や形・機能などの特性を把握し、そこからヒントを得て人工的に設計・合成・製造するのが「生物規範工学」です。

生物学と工学と博物館を結ぶ、**バイオミメティクス市民セミナー**では、生物学者と工学者が、新しい視点で生物の見方を紹介します。

会場：北海道大学総合博物館／知の交流コーナー
時間：午後1時30分から午後3時30分

セミナー16：2013年4月6日(土)

黒川 卓 (北海道大学電子科学研究所 客員教授)

「社会に伝えたいバイオミメティクス」

セミナー17：2013年5月4日(土)：みどりの日

居城 邦治 (北海道大学電子科学研究所 教授)

「ナノテクノロジーが拓くバイオミメティクス」

セミナー18：2013年6月1日(土)

宮内 昭浩 ((株)日立製作所日立研究所 主管研究員)

「ナノインプリント技術による表面構造の模倣とバイオミメティクス」

セミナー19：2013年7月6日(土)

鎌田 香織 (東京工業大学フロンティア研究機構,
ERATO 彌田超集積材料プロジェクトバイオテンプレートグループ グループリーダー)

「バイオテンプレートと構造機能材料」

セミナー20：2013年8月3日(土)

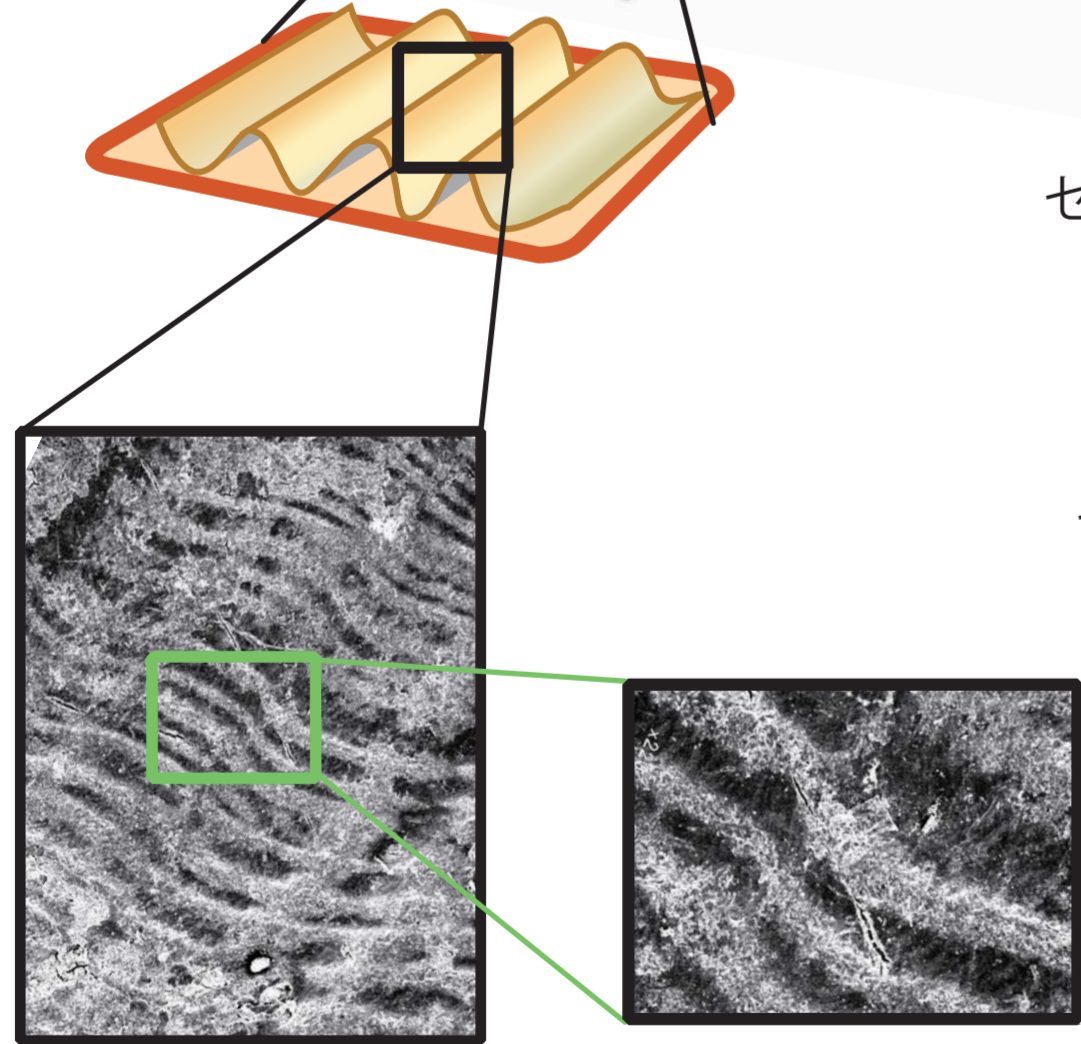
木村 賢一 (北海道教育大学 教育学部 教授)

「発生遺伝学とバイオミメティクス」

セミナー21：2013年9月7日(土)

篠原 現人 (独立行政法人国立科学博物館 動物研究部 研究主幹)

「魚類学者から見たバイオミメティクス」



主催：北海道大学総合博物館
協賛：高分子学会バイオミメティクス研究会
高分子学会北海道支部
北海道大学総合博物館
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
問合せ先：TEL. 011-706-2658 FAX. 011-706-4029
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp